



「おだやかな革命」上映会に取り組んで



大迫での「おだやかな革命」上映会

地球温暖化を話し合う国際会議「COP25」で、ドイツの環境NGOは、去年1年間で異常気象により世界で最も深刻な影響を受けたのは、記録的な豪雨や猛暑に見舞われた日本だったとする分析を発表し、温暖化対策の強化を呼びかけました。

分析では死者数や経済的な損失等をもとに行なったということで、西日本を中心に広い範囲で大きな被害が出た西日本豪雨や、「非常に強い」勢力を維持したまま上陸した台風21号、そして埼玉県熊谷市で、41・1度と国内での観測史上、最も高い気温を記録するなど猛暑に見舞われたことを理由に挙げています。温暖化の問題は、私たち一人ひとりが考えていかなければならないし、国も対策を明確に打ち出すべきと考えます。

私は自然エネルギー・地域づくりをテーマにしたドキュメンタリー映画「おだやかな革命」上映実行委員会を組織し、取り組みました。令和元年5月に花巻市文化会館において2回上映し220名の方が、また同年10月には大迫交流活性化センターにおいて大迫高校の生徒と一般の方59名の方に鑑賞していただきました。花巻市に、自然エネルギーやまちづくりについて関心を持っている若者がいることを実感しました。

映画では、岡山県西栗倉村で、地域の間伐材を使って若者が起業し、見向きもされなかった森林が地域

の温泉施設の熱源になり、美しい家具が誕生し、地域のつながりを強めていることが描かれています。また、岐阜県郡上市にある約100世帯の小さな集落「石徹白^{いとしろ}」では、伝統的な文化や暮らしを大切にする移住者を起点に、地域に残る農業用水路で小水力発電事業が立ち上がり、そこで地域の価値に気づき始めた地元住民との新しい未来作りが始まっているという内容です。

鑑賞した方の感想として、大迫町の地域おこし協力隊として活動している一人は、「今日の上映会では地方で自ら行動している人の姿を拝見し、とても眩しく感じました。あんな風に一本筋を通して地域のために力を尽くすのにはどうすべきかしっかり考えたい」と語りました。

また、ある高校生は、「他の土地から移住してきた人に刺激され、地元の人たちも行動し、失われつつあった熱意がよみがえってきたところに感心した。今後人口が減っていく中で自分たちが行動していかないとどんだん地方が衰退していくと感じ、『おだやかな革命』で取り上げられた事例は参考になった」と述べています。

今回、花巻市の若者の「おだやかな革命」を鑑賞しての感想が非常に素晴らしく感じました。若者と意見交換する機会を設け、多くの高校生から寄せられた感想を皆さんに紹介したいと思います。

「おだやかな革命」上映会は、今後も引き続き実施したいと考えています。

(広報広聴特別委員会委員 若柳良明)

中学生に市議会はどのように見えた？

今年も西南中学校3年生の皆さんが、12月定例会の一般質問を傍聴されました。近年、西南中学校3年生の恒例となっています。

受験を控えた中学3年生の目に、議会の姿はどのように見えたのか、傍聴しての感想が寄せられましたので、いくつか紹介します。



やえがし まい 八重樫 真衣 さん

今回、私は初めて市議会を傍聴しました。始めは、先生に「昨年先輩はこういうことを聞きましたよ」といろいろ例を出してくれて、その例が建物や公共施設だったので、そのような話を主にしているのだと思っていたけれど、実際は台風や防災

のことなど、幅広いお話をされていてとても驚きました。話の内容がとても濃いもので難しかったけど、また機会があれば行ってみたいと思いました。



へらい かずき 戸来 和生 さん

議員の皆さんが、市民のために今の現状や課題について、全力で質問や答弁してくれるのがありがたいなと思いました。台風19号でリンゴの被害が61ヘクタールで、ダメになったリンゴが何千個もあったと思うけどジュースにしたり、訳ありリンゴとして売っているのが分かりました。自分ももっと花巻市について知りたいです。



ささき りゆうた 佐々木 琉汰 さん

1つの質問に1時間使うことに驚きました。慎重に進めているのを見て、花巻市をより良くするために時間を有効に使っているなと思いました。今日の議会の内容は難しくついていくことができませんでしたが、市議会を傍聴するという貴重な機会があつて良かったです。



おばら るう 小原 瑠桜 さん

私にはまだ少し早いと思ったけれど、体育館など普段私たちが使っているところからお世話になるであろう公共施設のことについて考えてもらえているのは嬉しいことだと思った。議員の人たちは、毎回あんな風に私



さと う まき 佐藤 真希 さん

ちの生活と未来のため話し合いをしているのだと知れて、そしてそれを自分の目で見れたのは本当に良かったと思う。

最初に女性の議員さんが少ないこと、予想していたよりも質問者の質問内容の数が多いなという印象を受けました。議会を傍聴する機会はないかなと思うのでとても良い経験となりました。台風19号の被害への支援を積極的に行っているということが分かりました。ホームページやTwitterなどのSNSを利用したものもあり、市でも情報伝達がグローバル化しているなと感じました。その反面、花巻市には高齢者だけで生活をしている家庭も多いことから、特に室内にいる高齢者への情報伝達の方法として、



まちなか めい 町中 芽衣 さん

ラジオの普及やテレビでの呼びかけを積極的にやっていることが分かりました。

難しい言葉や表現がたくさんあつて分からないところもあつたが、この市議会では私たち花巻市民の生活のためにさまざまな話し合いが行われているんだと思うと、とてもありがたみを感じました。1つの質問からすぐたくさんさんの意見が出ていて、私たちも話し合いの場ではこのような話し合いにしたいと思いました。



たかはし まんき 高橋 円迦 さん

実際に傍聴してみると、国会の議員よりもずっと身近なことを議論してい



へらい ゆうたろう 戸来 悠太郎 さん

て、こうやって花巻市の方針は決まるんだなと思いました。環境についての取り組みは、温暖化への対策も兼ねて行っていることが分かって、市町村で取り組むことはとても重要だと感じました。身近なことで、話し合っている内容がよく分かったので傍聴が楽しく感じられました。また機会があれば行ってみたいと思いました。

もう少しガヤガヤしているのかなと思っていたけど、静かに淡々と進んでいて、少し驚きました。防災についての話を聞いて防災士というのを初めて知りました。花巻のことについて真剣に話をしているすごいなと思いました。また機会があつたら参加したいし、自分の住んでいる地域をさらに知りたいです。